

お手入れと保管について

毛布本体の洗たく

この毛布は、ヒーターが入ったまま丸ごと手洗い(押し洗い)ができます。必ず、次の手順や注意事項を守って洗たくしてください。



洗たく手順

- 『準備』
●毛布本体からコントローラーをはずします。
(コントローラーは洗わないでください。)
- 毛布本体をたたみます。
- 毛布が洗える大きさの容器にぬるま湯(30°C以下)を用意し、洗たく用の中性洗剤をとかします。

- 次のことは絶対にやめてください。
(発熱体を傷めたり、温度調節機能が正常に働かなくなり危険です。)
- ドライクリーニング
 - ねじりしぼり
 - 漂白剤の使用
 - アイロンがけ
 - 道具を使用する洗い
(へら洗い、たたき洗いなど)
 - 強制乾燥(乾燥機の使用や通電しながらの乾燥など)



コントローラーとコードのお手入れ

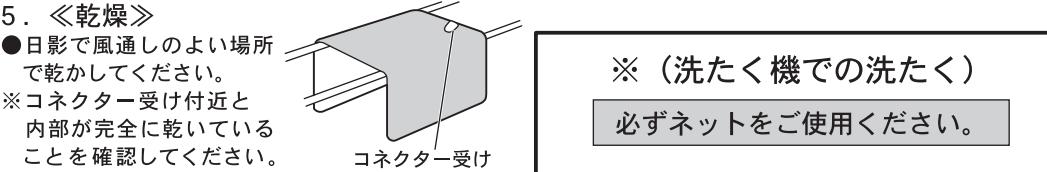
- 汚れたときは台所用中性洗剤を水にうすめて、布に含ませ、かたくしほってからふきとってください。(ベンジン・シンナーなどの使用はやめてください。)
- 長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布でふき取ってからご使用ください。

保管のしかた

- 毛布本体はよく乾燥させて、お手持ちの箱に入れ、湿気の少ないところに保管してください。
- ナフタリンなどの防虫剤はコントローラーや発熱線を傷めますので絶対に使用しないでください。

5. 『乾燥』

- 毛玉ができることがありますので、丁寧に洗濯してください。
- 容器に毛布本体を入れ、押し洗いをします。
※汚れがひどい場合は二度洗いしてください。



※ (洗たく機での洗たく)

必ずネットをご使用ください。

- ネットへの入れ方はコネクター受けが毛布本体の内側になるように入れてください。

- 必ず毛布洗い可能と表示されている洗たく機をご使用ください。

- 毛布本体の発熱線によじれがないか光にすかして見て確認してください。異常があった場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

- 静電気防止用に柔軟仕上剂を使用してください。

- コネクター受け部のみ再度水道水で洗います。

6. 『確認』

- 洗うときと同じ要領で洗剤が残らないように充分にすぎます。
- 他の洗たく物といっしょに洗わないでください。
- すすぎ・脱水・乾燥・確認は手洗いと同様に行ってください。

4. 『脱水』

- 浴槽のふちなどにかけて水をきます。

3. 『すすぎ』

2. 『手洗い』

1. 『準備』

修理サービスを依頼する前に

- 故障かなと思ったときは、つぎの点をお調べになってからお買い上げの販売店にご相談してください。

こんなとき	おたしかめください
『電源』が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●差込みプラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか? ●ご家庭用のヒューズやブレーカーが切れていませんか?
暖かくならない	<ul style="list-style-type: none"> ●『電源/温度調節ダイヤル』の目盛が『1』側になってしまっていますか? ●コントローラーがふとんの中に入っていたり、他の熱源器具の熱を受けていませんか? ●コネクターはコネクター受けにしっかりと差し込まれていますか? ●毛布はきっちりと広げられていますか?

- 上記の処置をしてもなおならなかった場合は、お買い上げの販売店へ点検・修理をお申しつけください。

修理サービスについて

- (1)保証書
●この製品には、保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で『販売店名・お買い上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

- (2)修理を依頼されるとき
●保証期間中でも保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。

- 保証期間が過ぎているときは修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- (3)補修用性能部品の保有期間
電気毛布の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後6年です。
- (4)ご使用中ふとんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼ください。

電気掛敷毛布保証書

形名 YYB-F60E

持ち込み修理

お客様	お名前	ご住所	〒		
取扱販売店名・住所・電話番号					
保証期間	お買い上げ日	年	月	日	より
本体は1年間					

印

保証期間

お買い上げ日

年

月

日

より

本体は1年間

印

保証期間

安全上のご注意

この電気毛布は、就寝用暖房器具として使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対にしないでください。
この用途以外（観賞魚・植物・ペット用など）及び一般家庭用以外（業務用など）でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

絵表示について

※ここに示した『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、『危険』『警告』『注意』の3つに分けてお知らせしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う、さし迫った危険の発生が想定される内容を示します。

警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。
(下記は絵記号の一例です。)

※記号の中の絵が具体的な内容になります。

してはいけない『禁止』
必ず実行していただく
『強制』内容です。

●使用時以外または、何か異常があった場合、すみやかに差込みプラグをコンセントから抜いてください。
●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。

●ぬれた手で差込みプラグ、コントローラーなどを絶対にさわらないでください。また、水やお茶等の液体をこぼさないでください。

●万一濡らしたときは、過熱や事故のおそれがありますのでただちにご使用を中止し、販売店に点検を依頼してください。

危険

乳幼児やご自分で温度調節（又は操作）のできない方は付添いなしでは使用しないでください。
●低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。

目盛『7』で長時間使用しないでください。
●低温やけどのおそれがあります。

●比較的低い温度(40~60°C)でも、長時間皮ふの同じところに触れていると、赤い斑点や水ぶくれができる低温やけどの原因になります。

●次のような方は特にご注意を!!

お子様、お年寄り、皮ふの弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方や深酒・疲労の激しい方。

●次のような方は、医師と充分ご相談の上お使いください。

●心臓病、糖尿病などで、電気毛布を使用することが健康上好ましくない方。

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
●感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

注意

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。
●発電やショートして発火することがあります。

他の暖房器具と併用しないでください。
●(湯たんぽ・カイロ・あんか・他の電気毛布との同時使用など)発熱体を傷め、必要以上の熱量となり危険です。

アイロン台として使用したり、他の加熱物を置かないでください。
●熱で本体(発熱体)を傷め、発火することがあります。

警告

製品に異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。

●発火したり異常動作してけがをすることがあります。

絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。

●発火したり異常動作してけがをすることがあります。

丸めたり、身体に巻き付けて使用しないでください。

●低温やけどのおそれがあります。

1日1回必ず毛布を広げ直して、しわ・折り重ねを無くしてください。

●低温やけどのおそれや故障の原因になります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。

●電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

コンセントの差込みプラグがゆるいときは、使用しないでください。また、差込みプラグとコンセントの間に木コリや水分を付着させないでください。

●感電やショート・発火の原因になります。

一般家庭用の交流100V以外では使用しないでください。

●火災・感電の原因になります。

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

●感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

各部の名称と使い方

各部の名称と正しい使い方

1

『ラベル』の矢印に合わせて毛布を広げます。

●毛布に縫い付けられているラベルの矢印方向を胸元側にしてシワにならないように広げます。

(足元側は胸元側より暖かくなります。)

※毛布は一日に一回必ず広げ直して、しわ・折り重ねをなくしてください。

局部保温により毛布表面やふとん等が変色したり故障の原因になります。

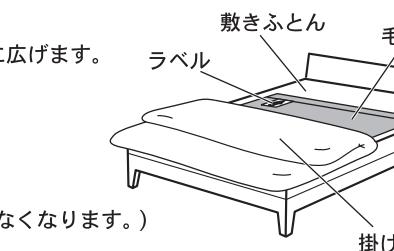
低温やけどのおそれがあります。

●お手持ちのシーツやふとんカバーをかけてください。

(シーツやふとんカバーを換えるだけで清潔さが保て、汚れ防止や毛玉の発生が少なくなります。)

※このとき、針や安全ピンなどでカバーと毛布本体を固定しないでください。

故障や感電の原因になります。



●外出時などには、差込みプラグが抜いてあることを確認してください。

●ふとんなどの一番上におしまいください。

(毛布本体の上に重いものを置きますと発熱体を傷めることができます。)

ダニ対策のしかた

1

毛布本体を折りたたみ、コネクター受けにコントローラーのコネクターを差し込みます。



2

『コネクター』を取り付けます。

コネクターの向きを確かめて切り込みに合わせてコネクター受けの奥まで確実に差し込んでください。また、ゴミや針などの導通性のものが、コネクターにはさみ込まれないように注意してください。

●コントローラーはふとんの外に置いてください。

●他の発熱器具よりはなしてください。

●踏みつけたり落ちやすいところには置かないでください。

4

『電源/温度調節ダイヤル』の目盛を『7』にして予熱します。

●『電源/温度調節ダイヤル』部が点灯します。

●おやすみになる1時間ぐらい前（冷え込みが厳しいときは2時間ぐらい前）から『電源/温度調節ダイヤル』の目盛を『7』に合わせて通電しておいてください。

●温度を上げる又はダニ対策は左方向に回す。

●温度を下げる又は『切』は右方向に回す。

切 1 2 3 4 5 6 7 切

●適正配線された交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

●コードはたばねたまま使用しないでください。

3

『差込みプラグ』をコンセントに差し込みます。

●適正配線された交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

●コードはたばねたまま使用しないでください。

4

『電源/温度調節ダイヤル』の目盛を『7』にして予熱します。

●『電源/温度調節ダイヤル』部が点灯します。

●おやすみになる1時間ぐらい前（冷え込みが厳しいときは2時間ぐらい前）から『電源/温度調節ダイヤル』の目盛を『7』に合わせて通電しておいてください。

●温度を上げる又はダニ対策は左方向に回す。

●温度を下げる又は『切』は右方向に回す。

切 1 2 3 4 5 6 7 切

●室温センサー（コントローラー裏面）

室温の変化を室温センサーが感知し、表面温度をお好みの温度で保つように自動コントロールします。

5

おやすみのときは、低めの目盛『1~3』に合わせます。

●安眠に適した温度は、体质・ねまき・寝具などによって異なります。

●低温やけどをおこさないためにも、低めの目盛でお使いください。

6

タイマーをセットする場合。

●『タイマーボタン』を

ご希望の時間に合わせて押してください。

1

2

3

消灯

切

タイマー設定解除

コントローラー

電源を入れると自動的に『切忘れタイマー』がスタートします。

15時間経過すると、タイマーが働いて通電が止まり、『電源/温度調節ダイヤル』部が点滅してお知らせします。通電が止まった後も続けてご使用になるときは、1度電源を切ってから再度電源を入れ直してください。さらに15時間ご使用いただけます。

※製品は、絵と多少異なることがあります。

7

使い終わりましたら

●コントローラーの『電源/温度調節ダイヤル』を『切』にして、差込みプラグを抜いてください。

●ぬれ手操作禁止

●万一路に通電が止まってしまった場合は、必ず電源を切ってください。

●万一路に通電が止まってしまった場合は、必ず電源を切って